

サロベツ再生通信 2013.12発行 第19号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部
林野庁北海道森林管理局

サロベツ・エコモーDay が行われました！

サロベツでは、サロベツ湿原の自然や地域の文化を楽しむ活動の環を広げ、湿原と農業が共生する地域づくりを進めるための『サロベツ・エコモー・プロジェクト』が行われています。

平成25年10月14日（月・祝）には、サロベツ湿原センターとレストハウスサロベツを会場として、湿原と農業の共生をテーマとした『サロベツ・エコモーDay』というイベントが開催されました。

当日は、豊富牛乳を使った料理の試食会や、木道観察会、牧草ロール、トラクターの展示などが行われ、豊富町内外から大勢の方にお越しいただき、自然再生の取り組みを楽しみながら知ることができた1日となりました。



「サロベツを食べよう！」
豊富牛乳を使った料理の試食会



子ども達も牧草ロールに絵を描いたり
乗るなどして楽しんでくれました



豊富高校と北海道大学の学生
によるサプレンジャー活動報告会

サロベツ・エコモー・メンバー交流会が行われました！

平成25年11月23日（土）には、サロベツ湿原センターでサロベツ・エコモー・メンバー交流会が行われました。今年のサロベツ・エコモー・プロジェクトには、26の活動登録（25団体・個人／12月現在）があり、交流会では活動を登録したエコモー☆メンバー同士が成果を発表し合い、交流を深めました。

当日は、元・釧路湿原自然保護官事務所の竹中康進さんの講演も行われ、釧路湿原での自然再生の取り組みについて紹介がありました。



自然再生事業紹介③

環境省の取り組み2

※ 環境省の取り組みの紹介は、第17号再生通信に続いて2回目となります

サロベツ原生花園園地跡地の修復



歴史

「サロベツ原生花園園地跡地」の歴史

「サロベツ原生花園園地」は1975年(S50)から本道やレストハウス、サロベツ原生花園自然教室が整備され、多くの人に親しまれてきました。

■サロベツ原生花園園地



問題

湿原の上に盛土をして整備されたため、湿原が消失するとともに、周辺の植生への影響が懸念されていました。

- 盛土及び施設の建設により湿原が消失
- 盛土による地盤沈下と道路側溝への排水により、湿原の乾燥化と植生の変化が発生

本来の高層湿原植生の面積が減少し、ササが拡大。

目標

「サロベツ原生花園自然教室」の機能を「サロベツ湿原センター」に移転し、跡地に周辺の湿原と調和する植生を回復させます。

■周辺の湿原植生



サロベツ原生花園園地跡地では、周辺の湿原と調和する植生を回復させることを目標としています。

■サロベツ湿原センター



取り組み

「サロベツ原生花園園地跡地」では次の取り組みを行っています。

植生回復の流れ

施設の撤去跡地では、表土をはぎ取って泥炭を敷きならし、湿原の植生に戻していきます。

撤去前

撤去後

モニタリングの実施

A区画からD区画では、泥炭の敷きならし厚さを変えて、植生の回復状況をモニタリングしています。

●A.C.D区画(表土掘削) ※写真は2011年

●B区画(表土掘削、泥炭埋戻し)

2011年7月

2011年10月

環境省 北海道地方環境事務所

「上サロベツ自然再生協議会」運営事務局 代表
 〒098-4110 天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町商工観光課
 TEL: 0162-82-1001 FAX: 0162-82-2806
 E-mail: saisei@town.toyotomi.hokkaido.jp

サロベツの自然再生については、
<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
<http://sarobetsu-saisei.jp/>
 もご覧ください。